

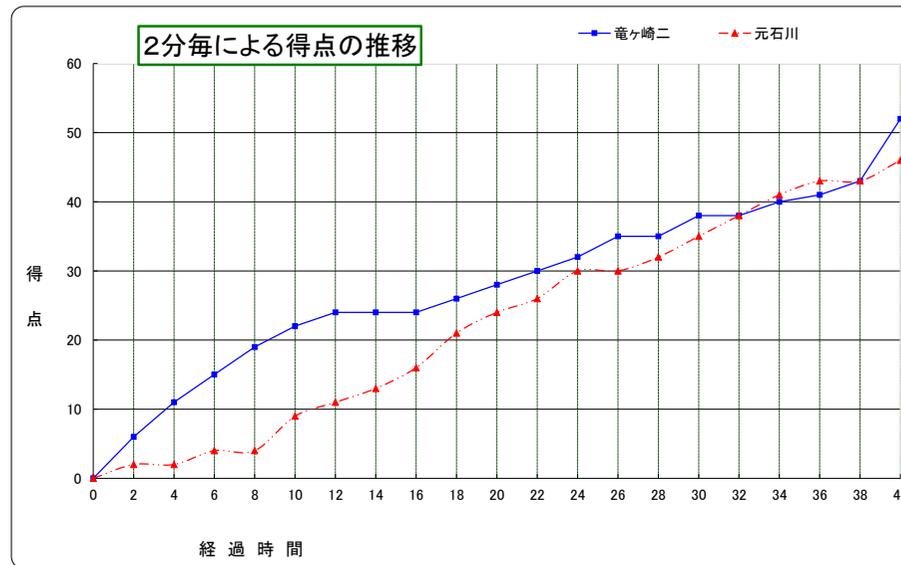
平成28年度第27回関東高等学校 バスケットボール新人大会

平成29年2月11日(土)
毎日興業アリーナ久喜
女子1回戦 D4

チームA			チームB
県立竜ヶ崎二 (茨城)	52	{ 22 1st 9 6 2nd 15 10 3rd 11 14 4th 11 }	46
		}	県立元石川 (神奈川)

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	倉持 彩弥	9	0	0	3	16	3	6	3	1	2	0	0	0	1
5	根本 笙子	4	1	1	0	1	1	2	0	0	1	1	0	0	2
6	小川 未来	2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
7	小泉 雛	11	0	4	4	10	3	4	2	1	3	3	2	0	2
8	飯島 天寧	0													
9	酒井 真新	0	0	1	0	1	0	0	2	1	1	1	1	0	1
10	市川 水晶	4	0	4	2	3	0	0	0	1	1	2	0	0	2
11	板垣哉也子	7	0	0	1	24	5	8	2	1	7	1	0	0	4
12	長谷川未佳	8	0	0	3	5	2	3	4	3	5	2	0	0	0
13	横堀早佑理	1	0	1	0	0	1	2	1	0	0	1	0	0	0
14	関根 楓	6	0	1	2	4	2	2	2	0	2	1	2	0	3
15	久保田萌香	0													
16	田中 若菜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	八田 千裕	0	0	0	0	2	0	0	2	1	0	3	0	0	0
18	石上 夏樹	0													
コーチ	宮田 宗典														
		52	1	12	16	67	17	27	19	9	22	15	5	0	15
		確率		8.3%		23.9%		63.0%		計	31				

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	丸山実咲季	13	0	5	5	6	3	4	4	1	6	1	0	1	10
5	大井 望咲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	三上さくら	0	0	0	0	1	0	0	5	7	7	0	1	0	3
7	土田真理恵	0													
8	国井梨里香	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	山下 夏苗	7	2	6	0	0	1	4	5	1	5	2	1	0	7
10	齋藤つばき	17	2	12	5	15	1	4	4	0	2	3	1	1	9
11	児玉 美月	0													
12	佐藤 暁野	0													
13	永井 美帆	0													
14	小林悠芽子	0													
15	田中 柚菜	0													
16	山本 珠実	0													
17	丹羽風春天	9	1	11	3	8	0	0	1	1	7	1	1	5	11
18	深野 葵	0													
コーチ	内藤 学														
		46	5	34	13	30	5	12	19	10	27	7	4	7	40
		確率		14.7%		43.3%		41.7%		計	37				



戦評

第1P 竜ヶ崎第二オールコートマンツーマン、元石川ハーフコートマンツーマンでスタート。竜ヶ崎第二は出場選手全員が直線的なドライブとエネルギー溢るディフェンスをみせる。元石川は竜ヶ崎第二のトラップディフェンスにミスを繰り返してしまう。相手の焦りを見逃さない竜ヶ崎第二は#5・10・12・14などが着実に得点を重ね、12-2となったところで元石川が1回目のタイムアウト。タイムアウト後、相手のドライブに対してしっかりと対応し始めた元石川であったが、ボールを運んだ後のシュートを焦ってしまい、決定力を欠く。第1P終了して22-9竜ヶ崎第二がリード。

第2P 冷静さを取り戻し本来の力を出したい元石川であったが、竜ヶ崎第二のボールマンプレッシャーと駆け引きの巧さ、ローテーションの徹底的な速さに中々リズムをつかむことができない。一方の竜ヶ崎第二もドライブを上手に守られ始め、得点が止まる。残り6分で竜ヶ崎第二がタイムアウト。しかし、タイムアウト後も竜ヶ崎第二の得点は伸びない。その間、元石川は#9・10の3p、#4・6の得点などで点差を一気に詰め、竜ヶ崎第二4点リードで後半へ。

第3P 一進一退の展開は続く。竜ヶ崎第二は#7がドライブインでシュートをねじ込み、一方の元石川は粘りのディフェンスから#10が見事なパススティールからのレイアップを決める。双方が鍛え上げられたディフェンスにプライドを持ち全力でプレイし、こう着状態は続き、勝負の行方は最終4Pへ。

第4P 開始早々、元石川#17の3pが決まり同点に追いつく。ディフェンスでは竜ヶ崎第二のドライブインに対し、最後のブロックショットまで粘り強く付いていき、得点を許さない。残り6分、試合序盤から積極的なプレイを見せていた#10のドライブインが決まり、ついに元石川が逆転する。竜ヶ崎第二は残り4分でタイムアウトを請求し、立て直しを図る。徹底的にドライブインにこだわる竜ヶ崎第二だが、FTをはじめシュートが中々決まらない。しかし、ここで竜ヶ崎第二のキャプテンが意地を示す。ドライブインを2本、FT2本を決め、約1分間で6得点の大活躍。元石川も残り15秒で#10が3pを決めるなど最後まで粘るが、52-46で竜ヶ崎第二が勝利し2回戦に進出した。

高校生らしいひたむきなプレイを見せた両チームの健闘を讃えたい。

記入者 飯野 英利

Ref	吉田 憲生	1st U	藤林比登美	2nd U	
-----	-------	-------	-------	-------	--